

三菱電機 設備用パッケージエアコン 別売品 ベーパーパン加湿器	
形名	
PAC-CB17VP	
PAC-CB18VP	

取付説明書(販売店・工事店様用)

もくじ	ペーシ
安全のために必ず守ること	····· 4
1. 使用部品	8
2. 使用箇所 (取付工事の概要)	11
3. ベーパーパン加湿器の設置	12
4. 配管・電気工事	
5. 取付工事後の確認	
6. 試運転	20
7. お客様への説明	21

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- ご使用の前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- ・ 「取付説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

WT08482X03 2

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること4
1. 使用部品8
1-1. 同梱部品8
2. 使用箇所(取付工事の概要)
3. ベーパーパン加湿器の設置12
3-1. 準備12
3-2. パネルの取外し
3-3. 製品本体への取付け
4. 配管・電気工事14
4-1. 配管要領14
4-2. 配線要領16
4-2-1. コントロールボックス、リレーの
取付けと制御箱カバーの取外し 16
4-2-2. 各部品の配線 17
4-3. 制御箱カバー、パネルの取付け 18
5. 取付工事後の確認19
5-1. 取付工事のチェックリスト
6. 試運転20
6-1. 試運転の準備20
6-2. 試運転要領20
7. お客様への説明21
7-1. お願い事項21

全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそ れのあるもの

図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)





(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事 をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しくだ さい。



電気配線工事は、法令に基づく資格のある電気工事業者に依頼し、「第一種電気工事士」 の資格を有する者が行う。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対 応可)

般事項



改造はしないこと。

水漏れ・けが・感電・火災のおそれあ り。



運転中および運転停止直後は、以下の 部品に素手で触れないこと。

- ◆本品・ベーパーパン本体・ヒーター本 体・スプレー本体
- ↑冷媒配管・冷媒回路部品
- ◆低温または高温になるため、素手で触れ 接触禁止 ると凍傷・火傷のおそれあり。



電気部品に水をかけないこと。

◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発 火・火災のおそれあり。



水ぬれ 禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、ス イッチ・ボタンを操作したりしないこ یے





禁止

掃除・整備・点検時は、運転を停止し て、すべての関連ユニットの主電源を 切ること。

> 指示を 実行

• けが・感電のおそれあり。

異常時(こげ臭いなど)は、運転を停 止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に 連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故 障・火災のおそれあり。



指示を 実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネル を取り付けること。

◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火 災のおそれあり。





パネルやガードを外したまま運転しな いこと。

- ・回転機器に触れると、巻込まれてけがの おそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあ



高温部に触れると、火傷のおそれあり。

運転停止後、すぐにユニットの電源を 切らないこと。

- ・運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財が ぬれるおそれあり。



冷房運転時に加湿器を使用しないこと。

- ・水回路凍結によりユニットが損傷するお
- 水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



部品端面・ファンや熱交換器のフィン 表面を素手で触れないこと。

けがのおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けるこ ەے

けがのおそれあり。



指示を 実行

水回路の温度が0℃以下になるところ に加湿器を設置しないこと。

◆水回路凍結によりユニットが損傷するお それあり。



水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

指示を 実行

運搬・取付作業をするときに



20kg 以上の製品の運搬は、1 人でし ないこと。

けがのおそれあり。



取付作業をするときに



梱包材は廃棄すること。

けがのおそれあり。



指示を 実行

梱包材は破棄すること。

◆窒息事故のおそれあり。



指示を 実行

取付作業は、販売店または専門の工事 店が実施すること。

- ◆間違った取り付けは、事故のおそれあ
- お客様ご自身での取り付けは、事故のお それあり。



指示を 実行

取付部品は、必ず付属部品および指定 の部品を使用すること。

• 当社指定部品を使用しないと、事故のお それあり。



指示を 実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

・故障・発煙・発火のおそれあり。



配管工事をするときに



警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



⚠注意

配管は断熱すること。

◆結露により、床がぬれるおそれあり。



指示を 実行

コーキングをすること。

不備がある場合、床がぬれるおそれあり。



指示を 実行

電気工事をするときに

警告

電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しない こと。

使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



配線が冷媒配管・部品端面に触れない こと。

・配線が接触した場合、漏電・断線・発 煙・発火・火災のおそれあり。



配線に外力や張力が伝わらないように すること。

◆伝わった場合、発熱・断線・発煙・発 火・火災のおそれあり。



指示を 実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれ あり。



配線端子のねじは規定のトルクで締め ること。

ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・ 火災のおそれあり。



取付作業をする場合、主電源を切ること。

けが・感電のおそれあり。



担がを実行

電気工事は、第一種電気工事士の資格 所持者が以下に従って行うこと。

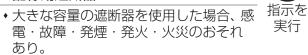
- ◆電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- ◆ 取付説明書



・施工不備があると、感電・故障・発煙・ 発火・火災のおそれあり。

以下の正しい容量の遮断器を使用すること。

- 漏電遮断器
- ◆ ヒューズ (開閉器 + B 種ヒューズ)
- 配線用遮断器





た規格品の配線を使用すること。 ◆ 漏電・発熱・発煙・発火・火災*0*

漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

電源配線には、電流容量などに適合し



指示を 実行

移設・修理をするときに



警告

分解・改造はしないこと。移設・修理 は販売店・専門業者に依頼すること。

冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の おそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを 付着させたりしないこと。

ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

◆不備がある場合、けが・感電・火災のお それあり。



指示を 実行

1. 使用部品

掃除・整備・点検時は、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を 切ること。

<u>・</u>けが・感電のおそれあり。



梱包材は廃棄すること。

けがのおそれあり。





作業する場合は保護具を身に付けること。

けがのおそれあり。

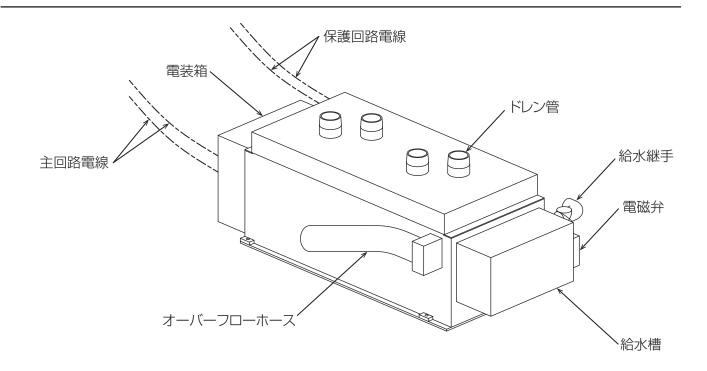


1-1. 同梱部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

No.	品名	形状	個数	備考
D-1	ベーパーパン加湿器	988	1	
D-2	コントロールボックス		1	
D-3	給水チューブ		1	
D-4	ストレーナ付給水継手		1	
D-5	グロメット(大)	0	1	
D-6	グロメット (小)	0	1	
D-7	取付板		1	

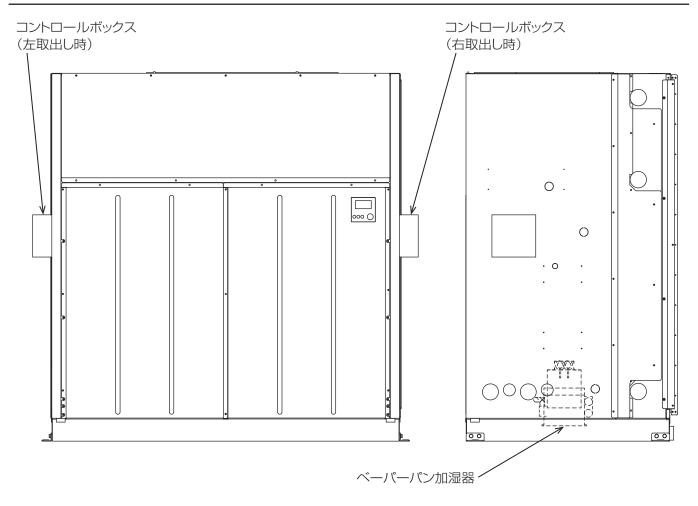
No.	品名	形状	個数	備考
D-8	サポート板		1	
D-9	固定板		1	
D-10	断熱材		1	
D-11	ノズル	SC TOTAL TO THE SC TO THE	2	
D-12	パイプカバー	6	2	
D-13	ゴムチューブ		4	
D-14	トラスねじ	338	10 (予備 1 含む)	呼び:M5X10
D-15	タッピンねじ		5 (予備 1 含む)	取付板固定用 呼び:5X10
D-16	タッピンねじ		4 (予備 1 含む)	コントロールボックス取付用 呼び:4X10
D-17	リレー組立		1	
D-18	タッピンねじ		3 (予備 1 含む)	リレー取付用 呼び:3.5X10
D-19	リード線A(長)	© T.O	1	3200 mm
D-20	リード線B(短)	82	1	70 mm



お願い

- ベーパーパン加湿器を取付ける際は、必ず以下に示す梱包材を取外してください。
 - ・製品、配線を包装しているビニール袋
 - ・ 養生テープ等
 - 段ボール等の紙製の緩衝材、スペーサー
 - 発泡スチロール等の樹脂系の緩衝材、スペーサー

2. 使用箇所 (取付工事の概要)



]] WT08482X03

3. ベーパーパン加湿器の設置

⚠警告

梱包材は廃棄すること。

けがのおそれあり。



取付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用すること。

◆ 当社指定部品を使用しないと、事故のお それあり。



指示を 実行

梱包材は破棄すること。

◆ 窒息事故のおそれあり。



付属品の装着や取り外しを行うこと。

・故障・発煙・発火のおそれあり。



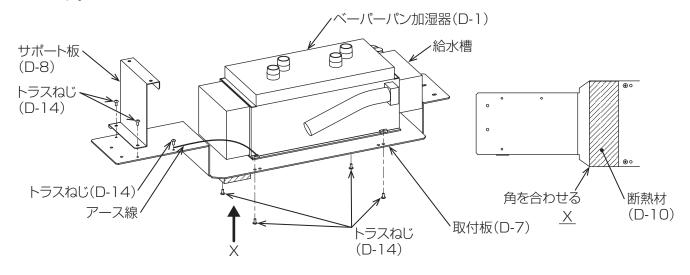
お願い

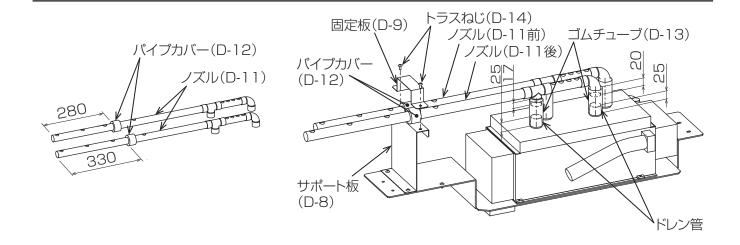
• 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。

3-1. 準備

手順

- 1. 給水槽内のフロート押さえスチロールを取り去ってください。
- 2. ベーパーパン加湿器 (D-1) に取付板 (D-7) をトラスねじ (D-14) 4本で固定してください。
- 3. ベーパーパン加湿器 (D-1) からのアース線をトラスねじ (D-14) 1 本で固定してください。
- 4. 取付板 (D-7) に断熱材 (D-10) を貼付けてください。
- 5. 取付板 (D-7) にサポート板 (D-8) をトラスねじ (D-14) 2 本で固定してください。
- 6. ノズル (D-11) 2本それぞれに、パイプカバー (D-12) を巻付けてください。
 - ※ パイプカバーを巻付ける位置は前後のノズルで異なります。
- 7. ベーパーパン加湿器のドレン管とノズル (D-11) 2本をゴムチューブ (D-13) 4個で接続してください。
 - ※ ノズルとゴムチューブの左右方向(2カ所)については、寸法を参考に差込み、ノズル先端が水平より約1°下向きになるように調節してください。
 - ※ 前後のノズルも同様に差込んでください。
- 8. パイプカバー (D-12) を挟込むようにして、固定板 (D-9) をサポート板 (D-8) にトラスねじ (D-14) 2本で固定してください。
 - ※ パイプカバーがサポート板上面からずれている場合は、パイプカバーの巻付け位置を調節してください。

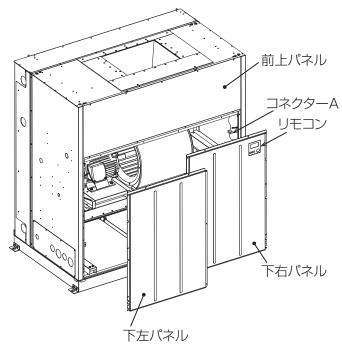




3-2. パネルの取外し

手順

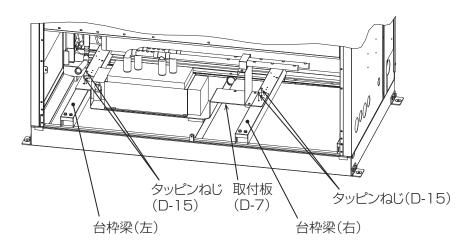
- 1. 製品本体の下左パネルの固定ねじ8本を外し、パネルを手前上方に持ち上げて外してください。
- 2. 下右パネルの固定ねじ5本を外し、パネルを手前に傾け、リモコン配線のコネクターAを抜いてください。
 - ※ このコネクターは必ず抜いてください。抜かずにパネルを外すとリモコン配線を破損するおそれがあります。
- 3. 下右パネルを手前上方に持ち上げて外してください。
- **4.** 前上パネルの固定ねじ9本を外し、パネルを上に持ち上げて外してください。
 - ※ 外したパネルを地面などに下す場合、地面と の間に配線やコネクターを挟まないようにし てください。
 - ※ 外したねじは、パネルを再度取付ける際に使用するため、なくさないように保管してください。



3-3. 製品本体への取付け

手順

1. 3-1 項で取付けた取付板 (D-7) を左右の台枠梁に乗せ、タッピンねじ (D-15) 4本で固定してください。 ※ オーバーフローホースはドレンパン排水口の近くへ導いてください。



4. 配管・電気工事

4-1. 配管要領

⚠警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



⚠注意

配管は断熱すること。

結露により、床がぬれるおそれあり。



コーキングをすること。

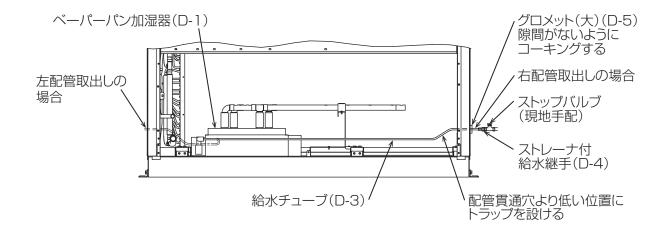
不備がある場合、床がぬれるおそれあり。

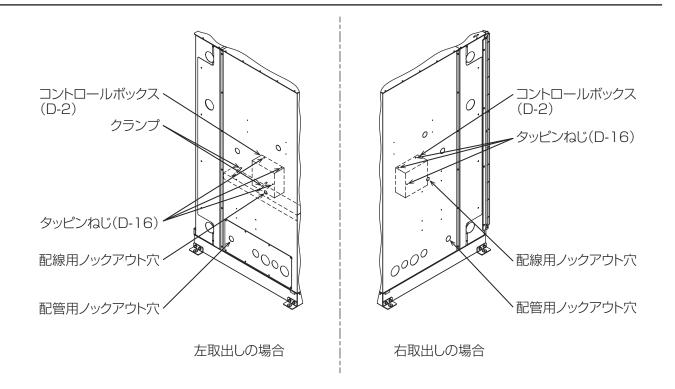


手順

- 1. 配管の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの配管用ノックアウト穴を打ち抜き、グロメット(大) (D-5) を取付けてください。
 - ※ 打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部をカッターで切離し、断熱材が破損しないように打ち抜い てください。
 - ※ グロメット(大)(D-5)は隙間がないようにコーキングしてください。
- 2. 給水チューブ (D-3)、ストレーナ付給水継手 (D-4) を使用して下図のように配管接続してください。
 - ※ 給水チューブ (D-3) は必ず配管貫通穴より低い位置 (機内側) でトラップを設けてください。
 - ※ 各部の締付けは必ずダブルスパナで行ってください。
 - ※ ストレーナ付給水継手 (D-4) のテーパーねじ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 - ※ ストレーナ付給水継手 (D-4) の現地配管側は 7-1. 項 10) の図 (22ページ) に示す通水部 (←部) を ふさがないよう施工してください。

ライニング管で施工する場合、接続側の形状によっては通水部をふさぐものがあります。





4-2. 配線要領



電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しない こと。

• 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。

禁止

配線に外力や張力が伝わらないように すること。

伝わった場合、発熱・断線・発煙・発 火・火災のおそれあり。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

◆発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれ あり。



実行

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

・ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・ 火災のおそれあり。



指示を 実行

電気工事は、第一種電気工事士の資格 所持者が以下に従って行うこと。

- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- •取付説明書



◆施工不備があると、感電・故障・発煙・ 実行 発火・火災のおそれあり。

お願い

- 電源回路には専用回路を使用してください。使用しない場合、電源容量不足の場合があります。
- 設備の重要度により電源系統を分割するか漏電遮断器・配線用遮断器の保護協調を取ってください。 製品側の遮断器と上位の遮断器が共に作動するおそれがあります。

4-2-1. コントロールボックス、リレーの取付けと制御箱カバーの取外し

手順

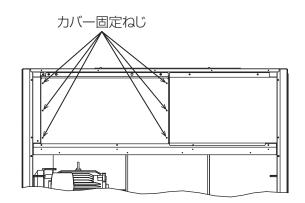
1. 配線の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの 配線用ノックアウト穴を打ち抜き、グロメット(小) (D-6)を取付けてください。

(4-1 項の図参照 (15ページ))

- ※ 打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部を カッターで切離し、断熱材が破損しないように打ち 抜いてください。
- 2. 配線の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルに コントロールボックス (D-2) をタッピンねじ (D-16) 3本で取付けてください。

(4-1 項の図参照 (15ページ))

- 3. 製品本体上にある制御箱カバーの固定ねじ6本を外してカバーを取外してください。
 - ※ 外したねじは、制御箱カバーを再度取付ける際に使用するため、なくさないように保管してください。
- **4.** リレー組立 (D-17) を 4-2-2 項の図 (17ページ) の位置にタッピンねじ (D-18) (2本) で固定してください。

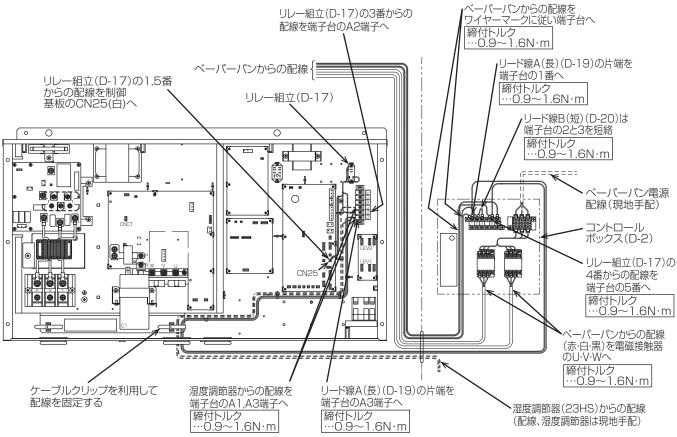


4-2-2. 各部品の配線

(締付ねじに、ゆるみ、斜め締めがないようにしてください。)

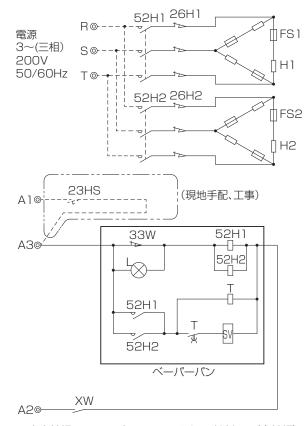
手順

1. 各配線を下図を参照に接続してください。



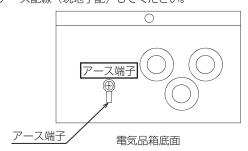
17

※各配線はワイヤーマークに従い端子台へ接続



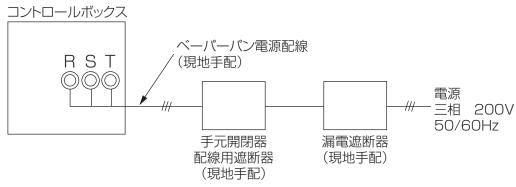
室内基板のSW3-5をOFF→ONにしてください。(全基板)

コントロールボックス底面のアース端子を用いて アース配線(現地手配)してください。



	記号	名 称	備考
ベーパーパン加湿器	52H1,2	電磁接触器	別売付属
	26H1,2	サーマルカットアウト	別売付属
	FS1,2	温度ヒューズ	別売付属
	H1,2	シーズヒーター	別売付属
	23HS	湿度調節器	現地手配
	Т	タイマー	別売付属
	SV	電磁弁	別売付属
	L	断水ランプ	別売付属
	33W	断水スイッチ	別売付属
	XW	補助継電器	別売付属

- ※ 湿度調節器 (23HS) を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配) ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。
- ※ ベーパーパン電源配線には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
- ※ 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。 (下図参照)



- ※ ベーパーパン電源配線に当たっては、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。
- ※ 電線太さおよび開閉器容量は、下表を参照してください。

別売形名 電線太さ		最大	漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器
別冗形石	電線太さ	こう長*1	% 2	開閉器容量	過電流保護器	凹冰川巡凹砧
PAC- CB17VP	5.5mm²	24m	30A NV30-C (当社)	30A	30A (B種ヒューズ)	30A NF30-C〈2.5kA〉または NF30-S〈5kA〉(当社)
PAC- CB18VP	8mm ²	30m	40A NV50-C (当社)	60A	40A (B種ヒューズ)	40A NF50-C〈5kA〉または NF50-S〈10kA〉(当社)

- ※1 最大こう長は電圧降下2%時の最大こう長を示します。
- ※2 漏電遮断器は定格速度30mA 0.1s以下を使用してください。
- ※ 配線を左に取り出す場合、ベーパーパン本体からの配線を製品本体のモーター付近のクランプで固定してください。(4-1 項の図参照(15ページ))
- **2-1.**室内基板のSW3-5をOFF→ONにしてください。(全基板)
- ※ ONにすることにより、ユニット停止後、ベーパーパン本体からの残留水蒸気を排出させるため、ユニット運転スイッチをOFFにしてから3分間送風機残留運転を行います。
- 2-2.ベーパーパンを組込む場合、サーモ停止時には加湿器をOFF するように製品本体制御基板のDIP SW1-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。
- ※ サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・サーモ停止時間等)によっては、加湿器からの蒸気が結露し、機外に露が飛び出る場合があります。

4-3. 制御箱カバー、パネルの取付け

すべての作業が完了しましたら、下記の要領で取外した部品を元どおり取付けてください。

手順

- 1. 制御箱カバーを元どおり取付けてください。(4-2-1 項の図参照 (16ページ))
- 2. パネルを取外しと逆の手順で取付けてください。(3-2項の図参照(13ページ))

WT08482X03 18

5. 取付工事後の確認

取付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。 不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

5-1. 取付工事のチェックリスト

点検項目	点検内容	点検結果
	部品の取付け忘れはありませんか	
設置・取付け	ねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	緩衝材の取外し忘れはありませんか	
	端子部などのねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	漏電遮断器を使用していますか	
電気回路	配線が配管や部品端部に接触していませんか	
	アースは規定どおり正しく配線されていますか	
	(ベーパーパン加湿器本体、コントロールボックス)	

6. 試運転

運転中および運転停止直後は、以下の 部品に素手で触れないこと。

- ・本品・ベーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体
- 冷媒配管・冷媒回路部品
- 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

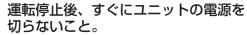


接触禁止

⚠注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがの おそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。







ユニットが故障し、水漏れにより家財が ぬれるおそれあり。

お客様立会いで試運転を行ってください。

6-1. 試運転の準備

ストップバルブの栓を開いて、加湿器への給水準備をしてください。

6-2. 試運転要領

お願い

- 1) リモコンをONにして暖房モードとしてください。
- 2) 配管接続部より漏れがないか確認願います。
- 3) ベーパーパン本体へ給水されることを確認してください。
- 4) 加湿されていることを確認してください。(必要に応じて23HSを短絡させてください。)
- 5) 23HS を短絡させた場合は元に戻してください。

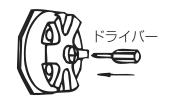
WT08482X03 20

7. お客様への説明

- この取付説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。 とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守る ようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後お客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合は、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

7-1. お願い事項

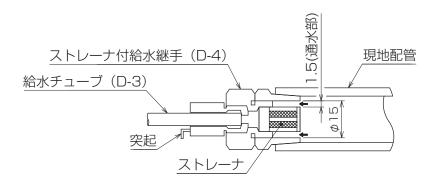
- 1) ストップバルブは必ず設けてください。また、必要以上に加湿しないように湿度調整器 (23HS) を使用し、適切な湿度に設定してください。
- 2) 給水圧力は、0.03~0.5MPaとしてください。
- 3) 給水は市水または上水を使用してください。また、水道管に直接接続することはできません。 加湿用原水中の硬度が高い場合、軟水装置の設置をおすすめします。 軟水装置はイオン交換樹脂を使用し、原水中の硬度成分を除去する水処理装置です。水に溶解している成分のうち、陽イオンのカルシウム、マグネシウムの硬度成分を、ナトリウムに交換除去するものです。 この装置が一定の軟水を採取しますと交換樹脂は硬度成分によって飽和状態となります。その時は交換樹脂を食塩水で洗浄して再生します。再生時には 1.5~2 時間かかりますので連続給水が望まれる処では貯水槽を備え水源で送水するようにします。
 - さらに加湿の品質を高める純水装置の設置をご検討ください。
- 4) 運転期間中は定期的にベーパーパンからの噴霧状態・各配管部からの水漏れ有無などを点検してください。
- 5) このベーパーパンは加湿運転が合計 5 時間に達すると、自動的にオーバーフローし、濃縮された水を排出させスケール (カルシウム固着) の発生を抑制させております。しかしスケールの付着は完全にはなくなりません。このため、1 シーズン (1400 時間位) に 1 回は蒸発槽のフタをあけてスケールを排出してください。
- 6) 長期にわたり使用しない場合は、ドレン抜きから水を抜いてください。
- **7)** 給水チューブから水が出なくなったり、水の出が悪くなった場合は 10) の図 (22ページ) の要領でストレーナを清掃してください。
- 8) ベーパーパンが作動しなくなった場合は、電装箱をあけて (ネジ4本) 温度過昇防止装置 (サーマルカットアウト) を調べてください。働いているとリセットボタン (青色) が少し飛び出しています。(2~3 mm)、異常を確認し正常にした後にドライバーの先でリセットボタンを強く押し込みリセットしてください。(1-1 項の図 (10 ページ)、右図参照)



- ※ 温度過昇防止装置 (サーマルカットアウト) が作動している場合は、主にベーパーパン加湿器の断水スイッチの故障か蒸発槽内のスケールたまりが考えられます。
- 9) 夜間等ユニット停止時に凍結するおそれのある場合は、適切な凍結防止処置を施してください。

10) 水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合は除錆剤や研磨などで錆を除去してください。

除錆剤をご使用される場合は、除錆剤に記載の注意事項を必ず守ってください。 また錆除去後は塗装などの防錆処理を施してください。



- 通水部をふさがないよう現地配管の施工をしてください。
- ストレーナ給水継手 (D-4) のチューブ側にある突起を押し込み給水チューブ (D-3) を引き抜いてから ストレーナ給水継手 (D-4) にはめ込まれているストレーナをはずして水洗いしてください。

WT08482X03 22

MEMO

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付) 0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

2023年11月作成 WT08482X03